

# Marpの使い方

# 目次

---

## ここに目次を書く

- Marpの使い方
- 目次
  - ここに目次を書く
- Marpとは
  - Marp: Markdown  
Presentation  
Ecosystem
    - Marp
    - /+ ☰

# Marpとは

---

## Marp: Markdown Presentation Ecosystem

Marpはマークダウン形式を用いてプレゼンテーションを作成するツールです。

1. シンプル: マークダウン形式で直感的にスライドを作成。
2. ビジュアルエディタ: リアルタイムでスライドの見た目を確認。
3. 多機能: PDFやHTMLへエクスポート可能、テーマ選択やカスタマイズ可能。
4. 対応OS: Windows, MacOS, Linux等。

Marpは、見栄えの良いスライドを簡単、迅速に作成するツールです。



# Marpの使い方について

---

## 参考リンク集

- [Marp公式](#)
- [Directives](#)
- [よろしく](#)
- [Marp入門～応用 | markdownでプレゼン資料を楽に素早く作って発表しよう](#)
- [【VS Code + Marp】 Markdownから爆速・自由自在なデザインで、プレゼンスライドを作る](#)
- [VSCode と Marp で A4 マニュアルを作成する方法](#)
- [Markdownでプレゼンを作ってGitHubで自動公開するフローを整えた](#)

# 2カラムレイアウトのテスト



## 左側のコンテンツ

- あいうえお
- かきくけこ

# Tips:画像の挿入について

VScodeの設定次第でCtrl+Cで画像を挿入する事が可能

- "markdown.editor.filePaste.enabled": true など
- ファイルをコピーする事も可能
- 下記のようにフィルター設定をかける事もできる



- 詳しくは[こちら](#)を参照

# Tips: 目次の作り方

---

- 拡張機能 Markdown All in One を使用。
  - i. 目次を挿入したい場所にカーソルを移動する。
  - ii. コマンドの表示と実行(Ctrl+Shift+P)から 「Markdown All in One:目次(TOC)の作成」 を選択し実行する。

## テスト目次

# Tips : URLを貼り付けてリンクにする方法

---

1. 貼り付けたいURLをコピーする
2. リンクにしたいテキストを選択する
3. Ctrl+Vなどで貼り付ける

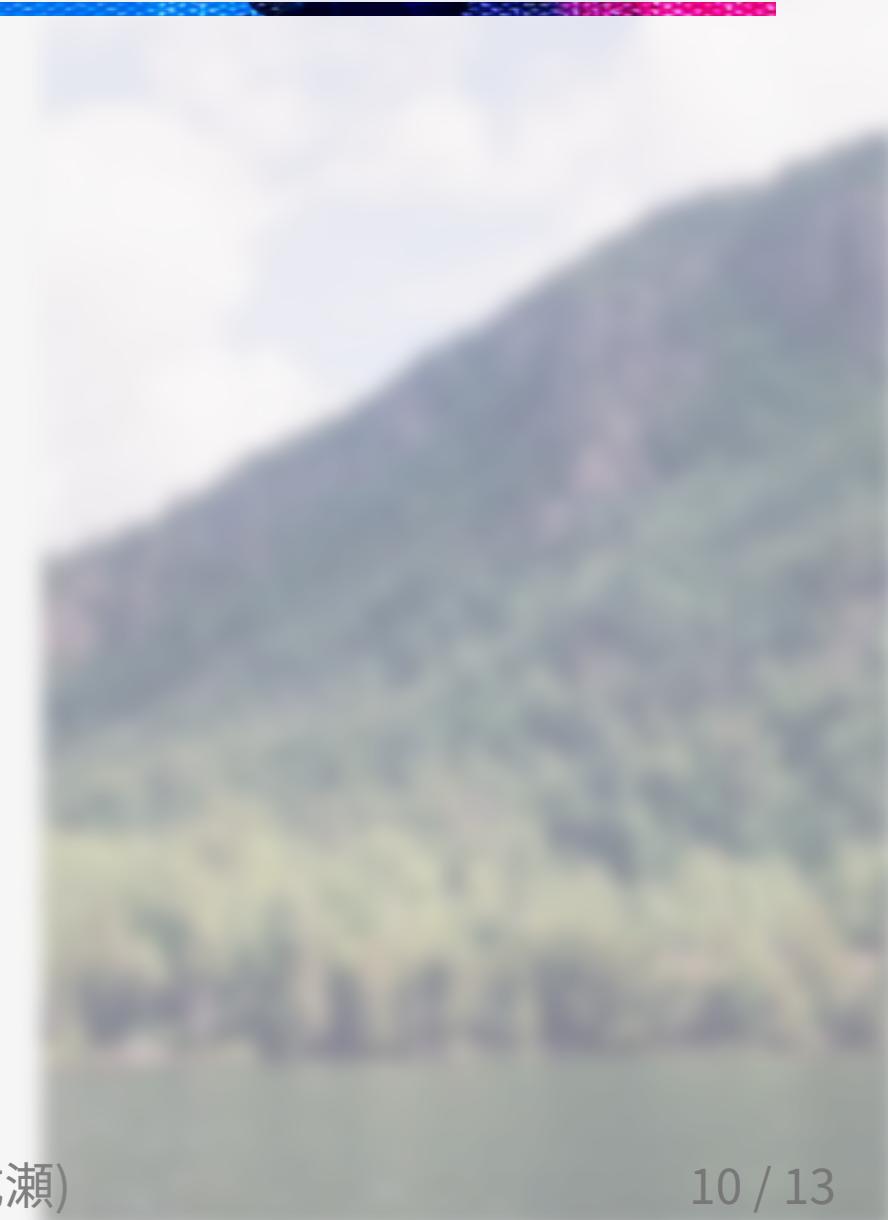
テスト ←はGGoogleへのリンク

# 表のサンプル

## Marpで良く使うディレクティブ

ディレクティブ	説明
<code>marp</code>	Marpの機能を有効にします。通常は <code>marp: true</code> とします。
<code>theme</code>	使用するテーマを指定します。デフォルトでは <code>default</code> が使用されます。
<code>paginate</code>	<code>true</code> を設定すると、スライドのページ番号が表示されます。
<code>size</code>	スライドのサイズを指定します。 <code>4:3</code> や <code>16:9</code> などのアスペクト比、または <code>1280x720</code> などの具体的なピクセル数を指定できます。
<code>header</code>	各スライドのヘッダーに表示するテキストを設定します。

# [WIP]Tips:背景画像について



# [WIP] Tips:Google Web fontsの使い方

1. Google Web fontsで、好きなフォントを選ぶ。

- a

2.

# コードブロックのサンプル

こんな風にコードブロックが書ける

```
class CameraClick(BoxLayout):
    camera_ref = ObjectProperty(None)

    def capture(self):
        timestr = time.strftime("%Y%m%d_%H%M%S")
        filepath = SavePic(self.camera_ref, timestr)
        message = f"Captured ({filepath})"
        show_toast(message=message)

class CameraClick(BoxLayout):
    camera_ref = ObjectProperty(None)

    def capture(self):
        timestr = time.strftime("%Y%m%d_%H%M%S")
```

# [Todo] Git Actionを利用して、自動でPDFやHTML作成

こんな風にコードブロックが書ける

```
class CameraClick(BoxLayout):
    camera_ref = ObjectProperty(None)

    def capture(self):
        timestr = time.strftime("%Y%m%d_%H%M%S")
        filepath = SavePic(self.camera_ref, timestr)
        message = f"Captured ({filepath})"
        show_toast(message=message)

class CameraClick(BoxLayout):
    camera_ref = ObjectProperty(None)

    def capture(self):
        timestr = time.strftime("%Y%m%d_%H%M%S")
```